

所 属 ・ 職 位	福祉健康科学部福祉健康科学心理学コース・講師			
氏 名	志方 亮介 (Shikata Ryosuke)			
取 得 学 位	博士（心理学）、九州大学、2021年3月			
S D G s 目 標		リサーチマップ (researchmap) ※ 上記をクリック してください		

研 究 分 野	臨床心理学、福祉心理学、生涯発達心理学
研究キーワード	臨床動作法、心理劇、回想法、身体感覚、障害そう
研 究 内 容	●多面的アセスメントにもとづく臨床動作法における体験的変化の研究 臨床動作法は、近年注目される身体性に着目した心理療法の一つです。臨床動作法では、心理支援の要点を体験的変化としています。質問紙法や投影法に基づく多角的視点から、臨床動作法による体験的変化を実証的に明らかにする研究に取り組んでいます。（論文1） ●障害児者への発達支援に関する実践研究 肢体不自由や発達障害、知的障害、重度重複障害といった障害を持つ方への発達支援や心理支援に取り組んでいます。主に上記の臨床動作法を用いた動作改善やコミュニケーションの促進、またリラクゼーション体験による安心感やストレスケア、障害受容の支援等に取り組んでいます。主に対象者理解や具体的援助に関する事例研究を行っています。（論文2） ●認知症高齢者を対象にした行為表現を用いた回想法に関する研究 高齢者の過去の体験を扱う回想法では、回想刺激として道具や写真、音楽などが用いられますが、さらに即興劇を用いる心理療法である心理劇の要素を取り入れた回想法の展開を研究しています。行為表現やそれに伴う身体感覚を介して、生き活きとした情緒的交流や参加者の自発性を促す支援について研究しています。（論文4） ●対人援助職養成に向けた心理支援技法の応用に関する研究 心理職や介護、保育等の対人援助職者の養成における対象者理解の促進について研究を行っています。心理支援で用いる技法を応用した教育実践を通じた共感的な他者理解の習得や、対象者への体験的理解を促す研究に取り組み、心理支援技法のエッセンスを活かした専門職の養成に取り組んでいます。（論文3）
研 究 業 績 ・ アピールポイント	●主な論文・研究発表 1. 志方亮介・古賀聡（2019）. ロールシャッハ・テストにおける知覚体験と動作法における体験様式の関連. 心理臨床学研究, 37(5) 433-444. 2. 志方亮介・川口智也・古賀聡（2019）学生相談において肢体不自由学生に動作法を適用することの臨床心理学的意義. リハビリテーション心理学研究 45(1) 31-43. 3. 志方亮介（2023）子育て支援を想定したロールレタリングによる共感性の変化—保育学生を対象にした「連絡帳ロールレタリング」の試み—. 精華女子短期大学研究紀要, 49(49) 1-12. 4. 志方亮介・古賀聡（2018）. 認知症高齢者の情緒的交流を目指した回想ドラマの試み, 西日本心理劇学会第43回学術大会 ●受賞 1. 2019年 日本リハビリテーション心理学会 研究奨励賞（第25号）